

「平成 30 年 7 月豪雨」被災団体対象
伊予銀行地域文化活動助成制度
(特別募集)
助成応募要領

～地域文化の復興をお手伝い～

伊予銀行は、社会貢献で
潤いと活力ある地域の明日を創ります

2019 年 3 月



「平成 30 年 7 月豪雨」被災団体対象 地域文化活動助成制度（特別募集）のご案内

◆ 趣 旨

本制度は、地域文化の発展と向上のため、愛媛県内で歴史的重要性や伝統性等に優れた「草の根的」な文化活動を行っている団体・グループに対して、その活動資金の一部を助成させていただく制度です。

通常、年 2 回募集を行っておりますが、このたびの「平成 30 年 7 月豪雨」にて被災された先を対象に、以下の要領で、紛失・破損した物品類の新調や修繕等を支援させていただきます。

郷土芸能をはじめ、各地に根付いた文化活動は地域の誇りであり、人々を結びつけ、コミュニティ再生の要ともなるものです。多様な地域文化を途絶えさせないためにも、当行がそのお手伝いをできればと願っております。

◆ 応募方法

後掲の「地域文化活動助成申請書」にご記入の上、最寄りの伊予銀行の支店窓口にお申込みいただきます。なお、応募にあたっては、お取引の有無は一切関係ありません。

◆ 助成対象 被災した物品の新調・修繕など、活動再開に係る費用

◆ 申請金額 1 団体 50 万円まで

◆ 応募期間 2018 年 8 月 1 日（水）～2019 年 8 月 30 日（金）（予定）

◆ スケジュール

①申請書類提出	最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。
②書類審査	支店長推薦を経て担当部で書類審査いたします。要件に満たない場合は、お断りすることもありますので、ご了承ください。
③面談・ヒアリング	活動や被災状況に関して詳細をヒアリングさせていただきます。
④審査・助成決定	文化振興顧問団委員からのご助言を元に、事務局にて審査を行います。助成金額は、被害状況や活動実績等により決定されます。
⑤選考通知・助成金の贈呈	選考結果・助成金の贈呈方法については、各推薦店を通じてお知らせします。
⑥活動報告書の提出	物品の購入・修繕等が完了した後、報告書をご提出いただきます。

◆「伊予銀行文化振興顧問団委員」のメンバーについて

愛媛県内の有識者からなる「伊予銀行文化振興顧問団」を編成し、当行の文化助成事業全般にわたってご助言・ご提言を頂いております。

氏 名	現 職
三木 吉治 氏	愛媛大学名誉教授
新居田 大作 氏	今治地方文化交流会会長
竹田 美喜 氏	松山市立子規記念博物館館長
森 正康 氏	愛媛県文化財保護審議会委員（松山東雲短期大学名誉教授）
大本 敬久 氏	愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員

◆助成要件

1. 愛媛県内で活動する団体・グループで、原則10年以上の活動実績を有し、
「平成30年7月豪雨」にて被災した先。
2. 地域に密着した住民参加型「草の根」文化を伝承していること。
3. 次の基準項目に照らして総合的に優れた特性を有していること。
【歴史的重要性】【伝統性】【芸術性】【成長性】【独創性】【公共性】【継続性】
4. 次の事項に該当しないこと。
 - (1) 個人的趣味・稽古事の延長である。
 - (2) 営利を目的としている。
 - (3) 行政またはそれに類似する団体等が主体となって進める事業。
 - (4) 特定の宗教・思想・政治団体等との関連がある。
 - (5) 反社会的勢力等との関連がある。
 - (6) ボランティア・福祉的色彩が強い。(NPO団体も含む)
 - (7) 規約・活動計画等の組織的態勢を有していない。

分 野	活 動 事 例
音 楽	コーラス・器楽・邦楽等
美 術	絵画・版画・彫刻・写真等
演 劇	ミュージカル・演劇等
文 芸	俳句・短歌・川柳等
郷 土 芸 能	獅子舞・鹿踊り・神楽・歌舞伎・伝承踊り・練り行事 等
創 作 芸 能	創作太鼓・創作舞踊 等
郷 土 史	郷土史・民俗学・考古学の調査研究書の出版等
国 際 交 流	文化振興を目的とした国際交流活動等
生 活 文 化	地域の発展向上に寄与する生活文化の習俗継承等
自 然 科 学	ホタル保存等の自然環境保全に関する調査研究等

◆ その他 注意事項

1. 原則として1団体（グループ）につき1回限りとします。
2. 通常の募集では「過去に本制度を受けた団体は、前回の助成から10年以上経過していること」が申請要件となっていますが、今回は経過年数に関わらずご申請いただけます。
(前回助成から10年未満でも申請可)
3. 本特別募集枠をご利用された場合、次回のご申請は10年経過後からとなります。

申請要件チェックリスト

本制度の趣旨に適っているかどうかのご判断について、下記チェックリストをご参照ください。

①	団体あるいはグループとして複数人数で活動している。	YES・NO
②	地域に根ざした文化の伝承活動を行っている	YES・NO
③	10年以上の定例的かつ継続的な活動実績を持ち、活発に運営されている。	YES・NO
④	趣味やお稽古事の延長ではなく、またレクリエーションの範囲を超えた文化活動を行っている。	YES・NO
⑤	ボランティアや福祉の分野ではなく、伝統性のある文化的な性質を持った活動を行っている。	YES・NO
⑥	地域おこしや人集めのイベント開催に終始せず、文化的要素を含む活動を行っている。	YES・NO
⑦	営利を目的とした活動や、個人的な利益に結びつく活動ではない。	YES・NO
⑧	特定の宗教や思想、政治団体との特別な結びつきはない。	YES・NO
⑨	役員等を含め、反社会的勢力に該当しない団体・グループである。	YES・NO
⑩	地公体が主催する事業の開催や、地公体が主体となった運営ではない。	YES・NO
⑪	連盟や協会等の事務局的な活動ではなく、会員自らが自主的・創造的に活動している。	YES・NO
⑫	規約や役割などが明確で、組織として構成されている。	YES・NO
⑬	年間の活動計画および収支計画が明確である。	YES・NO
⑭	助成を申請する事業の収支計画が明確である。	YES・NO
⑮	活動を次代へ継承していくための具体的方策（後継者対策等）を講じている。	YES・NO

上記はあくまでも目安の一部です。ぜひ、お近くの伊予銀行へご相談ください。

なお、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

お申し込みの際に必要な書類

下記書類を最寄りの伊予銀行の支店窓口へご提出ください。

1. 「平成 30 年 7 月豪雨」被災団体対象 地域文化活動助成(特別募集) 申請書 全 4 枚
(申請書は当行ホームページ【<http://www.iyobank.co.jp>】からダウンロードすることもできます。)
2. 活動内容について掲載された資料がある場合は A 4 サイズのコピー
3. 対象物品の被災状況や、元の状態が分かる写真・映像など
4. これまでの活動状況を撮影した写真・映像など

※被災により上記資料が揃わない場合でも、ご申請いただけます。

「地域文化活動助成申請書」記入上の留意事項

1. 【団体名】【代表者氏名】には、必ず『ふりがな』をお付けください。
【代表者役職】は、「会長」や「代表」など、団体における役職をお書きください。
2. 「Ⅲ－２．実施時期」は、申請活動の開催日（予定日）をお書きください。
3. 「Ⅲ－３．実施場所」は、会場名や神社名など、わかる範囲で詳しくお書きください。
4. 「助成希望金額」は、「Ⅲ－４．本年度活動収支計画」の不足額を目処として万円単位でご記入ください。

★ご不明な点がございましたら下記までお問合せください★

〒790-8514 松山市南堀端町 1 番地 伊予銀行 広報CSR室
TEL. 089-941-1141

地域文化活動助成申請書（特別募集）

年 月 日

株式会社 伊予銀行 殿

下記の物品の新調・修繕等を実施するにあたり、貴行の助成を申請します。

ふりがな

【団 体 名】

ふりがな

【代表者役職】

【代表者氏名】

印

【助成金使途】

【助成希望金額】

万 円

I. 団体の概要

1. 連絡先（団体所在地 または 代表者連絡先）

住 所 〒

電話番号 （ ） —

（携帯電話番号 ）（メールアドレス ）

（上記が代表者連絡先でない場合）

団体における役職名

ふりがな
氏 名

2. 会員数 男 性 名 / 女 性 名 / 子 供 名 / 合 計 名

年齢構成 歳 ～ 歳 （中心は 歳代） （大人中心 / 子供中心）

3. 団体設立年月 または 活動開始年月 M ・ T ・ S ・ H 年 月

4. ホームページ <http://>

5. 設立の経緯（なるべく詳しくご記入下さい。）

〔 伝統芸能分野の場合、発祥や起源などの由来・歴史的背景等、可能な範囲でご記入下さい。
地域の言い伝え等でも結構です。（市町村誌等の資料がある場合はコピー添付） 〕

6. 活動の目的

<4-2>

2. 定期練習（会合）状況

② 回数： 月 ・ 週 回 / 時 から 時 まで

④ 指導者： 職業または勤務先 氏 名

3. 過去の活動状況（上記以外の主な活動，時期・場所・催事名など）

※独創的・地域独自と思われる事柄、見せ場や自慢できる点について

5. これまでに苦労した事・感動した事・印象深い出来事など
6. 今後の目標など
7. 後継者対策（会員獲得）のため実施していること

Ⅲ. 助成を申請する物品について（できるだけ具体的にご記入下さい。）

1. 物品の名称・助成金使途（例: ○○○の新調）
2. 次回使用予定時期 年 月 日（ ） ～ 年 月 日（ ）
3. 実施場所（会場や神社などがあればその名称）
4. 本年度活動収支計画（ <u>本申請事業を含んだ年間の収支予想</u> をご記入下さい）

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会員年会費(@ 円)			
合 計（A）		合 計（B）	

不足額 = （A）－（B） = △ 円

5. 助成希望金額 万 円 ←

6. 申請対象物について

※修理・新調する物品の現状や個数等について

7. 申請する活動・催物等について、特色（特に力を入れていること）があれば。

8. この制度を何でお知りになりましたか。